

くじゅう黒岳地域の 野 鳥

黒岳は、ブナやカエデなどの落葉広葉樹を中心とした自然林が豊富に残る数少ない地域です。

この黒岳の森林部では、ヤマガラやヒガラ、ヒヨドリなどが一年中生息しており、これに季節によりクロツグミやキビタキ、オオルリなどの夏鳥、ツグミやルリビタキ、ウソなどの冬鳥が加わり、多くの野鳥が生息しています。黒岳周辺の草原では、ホオジロやホオアカなどと共に、夏にはカッコウののどかな声が聞かれます。

この地域には、黒岳を中心として、周辺の草原や森林を行動圏とするイヌワシのペアが生息しています。



黒 岳

バードウォッチングを楽しもう！

黒岳の森で野鳥を観察してみましょう。

観察コース

A 男池駐車場～男池 (30分～1時間コース)

ホオジロやシジュウカラ、ヤマガラ、コガラなどの留鳥類が見られます。男池のまわりでゆっくり待っていると、間近で野鳥たちを観察できます。



ウソ

B 男池駐車場～男池～かくし水 (2時間～3時間コース)

かくし水までゆっくり歩いてみましょう。

春から夏にかけては、ミソサザイやオオルリ、キビタキなどの美しい声が聞かれます。

秋から冬にかけては、越冬のために渡って来たシロハラやツグミ、ウソなどがみられます。



コゲラ

C 男池駐車場～男池～かくし水～ソババツケ～風穴 (1日コース)

かくし水を過ぎると、春から夏には、コマドリやメボソムシクイ、コルリなどの標高の高い所に生息する野鳥たちがみられます。

秋から冬にかけては、キレンジャクなどのレンジャク類やアトリ、シメなどがみられます。



ミソサザイ

How to bird watching

- 登山道をゆっくり、静かに歩きながら、鳥の声や枝から枝に移る姿に注意して探しましょう。
- 木の幹に寄り添ったり、石の上にしゃがんだりしてじっと待っていると、鳥は驚くほど近くにやってきます。
- 双眼鏡があると便利です。7～9倍が最適です。鳥を驚かすことなく、動作や姿をくわしく観察できます。
- 図鑑とメモを用意しましょう。
見た鳥の名前や生活を図鑑で調べ、記録を取りましょう。



アトリ

イヌワシについて

イヌワシは森林における食物連鎖の頂点に立つ猛禽で、国の天然記念物、環境省のレッドデータブックの絶滅危惧種に指定されている貴重な鳥です。

イヌワシが生息するためには、広い範囲の自然の森林とエサとなる動物が多く生息していなければなりません。つまり、イヌワシの生息することができる場所は、豊かな自然環境であるということです。イヌワシが安心して生息できるには、この黒岳の豊かな自然環境を守って行くことが大切です。



イヌワシ

黒岳探鳥マップ



エナガ



オオアカゲラ



マミジロ



ソウシチョウ